

石巻の少女合唱隊

クリスマスの歌声

御殿場

宮城県石巻市の小中学生でつくる「石巻少年少女合唱隊」のクリスマスコンサートが二十三日夜、御殿場市内のホテルで開かれ、約二十人が透き通った歌声を響かせた。

東日本大震災で被災した子どもたちに活躍の場を提供しようと、三島市のNPO法人・グラウンドワーク三島が招待。二十四日には三島市内でも開く。

華やかな衣装を着た子どもたちは、歌劇「くるみ割り人形」をはじめ赤鼻のトナカイなどのクリスマスソングを披露。フィナーレには、御殿場市の時之栖少年少女合唱団の約四十人と一緒に唱歌「ふるさと」を歌い、約三百人の聴衆を魅了した。

コンサートを終えた。 (酒井健)

三浦香怜さん＝石巻中学校二年＝は「みんなで歌うことは楽しい。震災で家族や仲間がバラバラになったけれど、また集まれて幸せ」。聴衆の三井はつ江さん(左)＝御殿場市中山＝は「みんな生き生きとした様子で、ほっとしました。未来を背負う子どもたちを、大人はバックアップしていかないと」と話した。



澄んだ声でクリスマスソングを披露する子どもたち＝御殿場市で